

電話の受け手 ボランティア募集

子どもたちの心の居場所づくりをしている

チャイルドラインの活動にあなたも参加しませんか？

★子どもからの電話を受ける方を「受け手」と言います。受け手ボランティアになるには、原則として全講座必修となりますが、都合がつかない場合はご相談ください。

受け手養成講座（第3期） 募集要項

期間	2025年5月24日（土）～9月23日（火） 10講座
受講料	10,000円（単発講座の受講は1講座1500円になります）
募集人数	20人（学生も可、学生の受講料は無料）
申込先	☎090-8683-3185（北澤） ☎090-5203-2089（中野） ☎川平 080-6939-8072
応募締切	2024年5月22日（木）
開催場所	松本会館なんなんひろば 松本市芳野4番地1 他
主催	チャイルドライン中信 代表・北澤由美
後援	松本市教育委員会 塩尻市教育委員会
問合せ先	☎090-8683-3185（北澤） ☎090-5203-2089（中野） ☎川平 080-6939-8072 e-mail chuxankynkyn720@gmail.com



18歳までの子どもがつながる

チャイルドライン®

チャイルドラインとは

18歳までの子どもがかけられる専用電話です

かかえている思いを誰かに話すことで、少しでも楽になるよう、気持ちを受けとめます。
あなたの思いを大切にしながら、どうしたらいいかを一緒に考えていきます。
お説教や命令、意見の押し付けはしません。

4つの約束

- ・ヒミツはまもるよ
- ・どんなことでも一緒に考える
- ・名まえは言わなくていい
- ・切りたいときには電話を切っていい

2025年度 チャイルドライン中信
第 3 期 受け手養成講座 スケジュール

回	公開の有無	開催日	時間	テーマ	講師	場 所
1	公開	5月24日	13:00	開講式	関 千夏氏 長野中央病院小児科医	松本市なんなんひろば 松本市芳野4番地1
			13:20	視覚・聴覚・睡眠…発育の危機 デジタル機器が及ぼす体への影響		
2	公開		15:10	子どもとメディア 過剰使用が子どもの心に及ぼす影響	松島恒志氏 子どもとメディア信州代表	
3	公開	6月7日	13:00	子どもを取り巻く犯罪 大人が知っておきたいこと	田村洋之氏 長野県警本部人身安全少年課	なんなんひろば 松本市芳野4番地1
			15:10	ガイダンス	事務局	以降会場は変更になる可能性があります
4	公開	6月21日	13:00	子どもの自信とやる気を引き出す 勇気づけの言葉	百瀬敬子氏 モモの会(不登校親の会)代表	なんなんひろば 松本市芳野4番地1
5	公開	7月5日	13:30	大切な命を守るために—自殺予防 子どもの心を知ろう	飯田俊穂氏 安曇野内科ストレスケアクリニック院長	安曇野市社協 老人福祉センター (ささえあいセンターに隣接)
			15:00	成長と発達—心の土台づくり 愛着の大切さについて	// //	安曇野市豊科4030-4番地
6	公開	7月26日	13:00	聴かれる権利とチャイルドラインの ミッション	太田久美氏 チャイルドラインさいたま理事	なんなんひろば(予定) 松本市芳野4番地1
7		8月23日	13:00	多様な子どもを受け止める 子どもアドボカシーとチャイルドライン	高橋弘恵氏 (zoom) チャイルドライン支援センター常務理事	なんなんひろば(予定) 松本市芳野4番地1
8	公開		14:30	性の多様性 子どもが迷い込む性の世界	渡邊智子氏 丸山産婦人科医院副院長	なんなんひろば(予定) 松本市芳野4番地1
9		9月6日	13:00	聴くことから始めよう ワークショップ	兼重尚子氏 米国CTF認定プロフェッショナルコーチ	なんなんひろば(予定) 松本市芳野4番地1
10		9月23日	13:00	子どもの声を聴く チャイルドラインの実際	石毛いづみ氏 公認心理師 チャイルドライン佐久	なんなんひろば(予定) 松本市芳野4番地1
11			15:20	希望を抱いて チャイルドラインとともに	鷹野禮子氏 チャイルドライン佐久元理事長	
			16:10	閉講式		

★ 申し込み先 電話かメールでお名前と連絡先を記入してお申し込みください。

北澤090-8683-3185 中野090-5203-2089 川平080-6939-8072まで、

★ 問い合わせ先 チャイルドライン中信 代表・北澤由美(090-8683-3185)
事務局 e-mail chuxankynkyn720@gmail.com

★ 後援 松本市教育委員会 塩尻市教育委員会

★ 詳細は裏面をご覧ください。

「チャイルドライン中信」立ち上げ・北澤由美さんに聞く

子どもからの声 受け止めて

18歳までの子どもの声を聞く「チャイルドライン」。県内では5地区に設置されています。このうち昨年1月に中信地方初の「チャイルドライン中信」を有志で立ち上げた代表の北澤由美さん(59、安曇野市)に、現状や課題などを聞きました。(桜井一恵)

★どんな相談でも

チャイルドラインが大切にしているのは、子どもが自分の力で考え、決めていけるようになるためのエンパワメント(勇気づけ)を支えることです。誰にも言えない悩みだけを相談する場所ではなく、ちょっとしたことでも、おしゃべりしたいだけでも大丈夫。「お母さんに怒られた。家で一人で留守番をしていて寂しい」「学校で友達とけんか

をした。どうしたらいいか分からないので電話した」といった声もあります。心のよりどころや「逃げ場」となる安心できる居場所です。

電話やチャットで寄せられる声で多いのは、中高生からです。

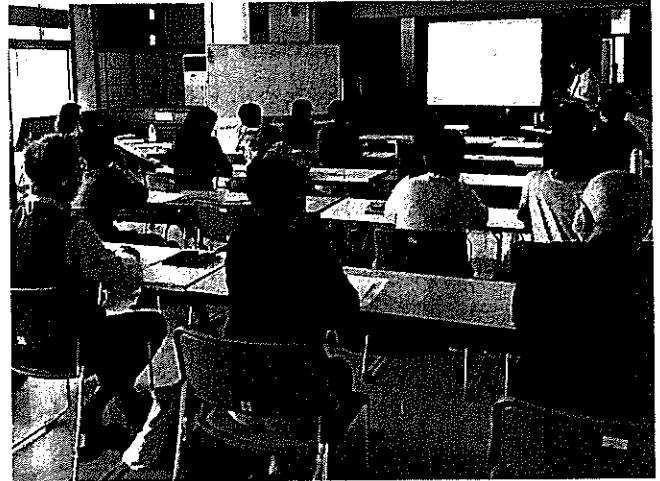
学校での友人関係、性のこと、家庭での問題、いじめや虐待…解決を望むというより、「ただ話したい」「誰かに聞いてもらいたい気持ちがある」という

ものもあります。電話口で全く話せない子、何度も利用する子もいます。それも悩みの解決に向かう過程の一部。最初の一步を踏み出すのは大きな勇気が必要です。私たちはボランティア(受け手)は、どんな小さな声も丁寧に受け止めるようにしています。

★声を受ける人
受け手になるために特別な資格は要りませんが、養成講座の受講が必要です。内容は子どもの権利、子どもの成長や思春期、いじめ、虐待など子どもを巡る社会課題などの講義

★現状と課題

今心配しているのは小学生です。固定電話がない家庭が増え、連絡手段を持てずに利用できないケースです。そうした子どもたちは、公衆電話を利用してほしいです。保護者



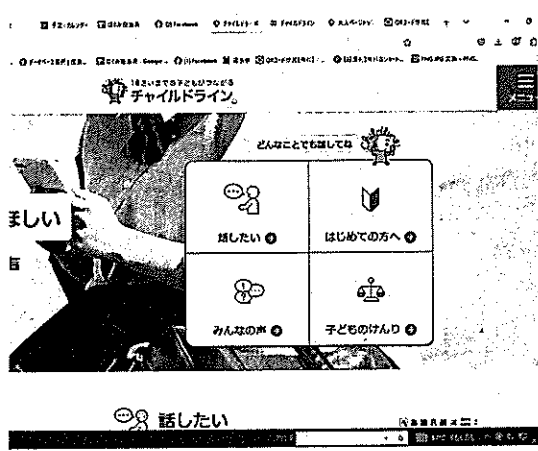
研修を受ける相談員(昨年5月)

チャイルドラインの主役は子どもです。受け手は一人の人間として主体性を尊重し、その声を受け止めますが、答えを出して問題を解決するのは子ども自身。「あなたの気持ちを信じているよ」というメッセージを送り、必要に応じて相談先の情報を伝えます。

チャイルドラインは毎日午後4～9時(12月29日～1月3日は休止、フリーダイヤル0120・99・7777。養成講座を5月24日～9月23日(10講座)、松本市芳野のなんなんひろばなどで開催。概要はQRコード1、スケジュールはQRコード2。問い合わせは北澤さん090・860836・3185



【チャイルドライン】 1980年代に英国で誕生。日本はそれを参考に1998年、市民ネットワークにより東京で初めて実施。現在はNPO法人チャイルドライン支援センター(東京)が全国の活動を取りまとめ、全国各地に約2000人いるボランティアが電話やチャットを受けている。子どもページのウェブサイト＝QRコード。



子どもページのトップ画面



概要

会社の周年記念に フルQ.U.Oカードは いかがですか？

オリジナルカードなら、完全オーダーメイドカードが
350年に Q.U.O 作れます 自由にデザインできますので、会社の思いを

NPO 祭壇

家族葬プラン

和室タイプ

22万

ホール料	後飾祭壇	お棺
遺影(大)	収骨用具	枕飾り

